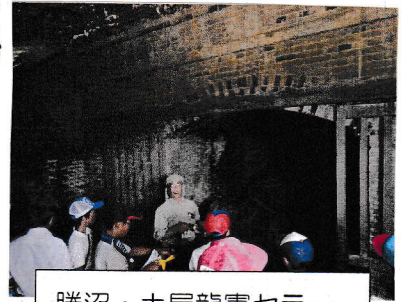


ぶどうの研究 勝沼に行っ て

文責：山崎 一成

善兵衛さんは、おいしいワインを目指し、17才から約50年間ぶどうの研究をしました。人生の大半をぶどうの研究にささげたといえます。まず勝沼に行きぶどうやワインのことについて学びました。その時土屋龍憲セラーを訪ね、イギリスづみのやり方でレンガをつむのも学びました。



勝沼・土屋龍憲セラー

最初の
30年間は

外国から苗木をとりよせる。500種類試したが気候が合わず失敗。

1922年からの

20年間は

品種改良を10311回した。
1931年3986回目にマスカットベリー-A
1932年4136回目にブラッククイーン
4192回目にローズシスター
1933年6421回目にレッドミルレインニエム



岩の原葡萄園第二号石蔵

その後1935年山梨にある登美の丘のぶどう園を使って、品種改良のことに ついて、研究を続けました。



山梨・登美の丘ワイナリー

感想

・善兵衛さんはぶどうの研究で人生の大半をぶどうに使ったので研究熱心ということが分かりました。